

世界の道路行政に関する動向調査

欧米諸都市の環状道路 報告書

平成11年3月

建設省道路局企画課道路経済調査室

世界の道路行政に関する動向調査

欧米諸都市の環状道路

報告書

平成11年3月

建設省道路局企画課道路経済調査室

# 目次

## はじめに

わが国の多くの都市では、戦後から当面する道路交通に対応するため、放射方向の道路を中心に整備されてきた。市街地における通過交通を排除し、良好かつ機能的な都市環境を形成するため、今後環状道路の整備を重点的に進めていくことが必要となっている。

欧米諸国においては、都心から20～40km以遠に環状道路が整備され、また都心から数キロにも高規格な環状道路が整備されている都市が多くある。これらの都市の多くは、モータリゼーションが大幅に進展した60～70年代頃から整備に着手し、様々な工夫や苦勞を乗り越え、実現している。また、現在でも時代の変化に柔軟に対応しながら整備を進めており、わが国の今後の環状道路整備を進めていく上で、参考になる点が多くみられる。

そこで、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカを対象に、欧米諸国における環状道路の計画、整備状況、事業化までの手続きやハード面やソフト面での整備の工夫ならびに財源確保の工夫等に関する調査を行った。イギリスは、ロンドン、バーミンガム、オックスフォードを、フランスは、パリ、リヨン、グルノーブルを取り上げた。また、ドイツではミュンヘン、ベルリン、ハノーバーを、アメリカではボルチモア、アトランタ、ツインシティズ（ミネアポリスとセントポール）を取り上げた。

本レポートは、『世界の道路行政動向調査』における成果の一部をとりまとめたものである。レポートの作成にあたっては、イギリスについては富田安夫氏（神戸大学助教授）、フランスは氏岡庸士氏（ディグレメントUK）、ドイツはピア・直美・リンス氏（ボン大学）、アメリカは、兵藤哲朗氏（東京商船大学助教授）に協力を得た。また、とりまとめにあたっては、(財)計量計画研究所のご協力を得た。ここに感謝の意を表する次第である。

平成11年3月

建設省道路局企画課道路経済調査室

## 第1部 イギリス

- 1-1. イギリスの交通計画の変遷 ..... 1
- 1-2. ロンドンの環状道路と最近の交通計画 ..... 13
- 1-3. バーミンガムの環状道路と最近の交通計画 ..... 34
- 1-4. オックスフォードの環状道路と最近の交通計画 ..... 44

## 第2部 フランス

- 2-1. フランスの道路網の特徴と環状道路 ..... 57
- 2-2. パリの環状道路 ..... 74
- 2-3. リヨンの環状道路 ..... 108
- 2-4. グルノーブルの環状道路 ..... 121

## 第3部 ドイツ

- 3-1. ミュンヘンの環状道路 ..... 131
- 3-2. ベルリンの環状道路 ..... 180
- 3-3. ハノーファーの環状道路 ..... 208

## 第4部 アメリカ

- 4-1. アメリカにおける環状道路（Beltways）の形成 ..... 215
- 4-2. ボルティモア（Baltimore）の環状道路と交通計画 ..... 233
- 4-3. アトランタ（Atlanta）の環状道路と交通計画 ..... 245
- 4-4. ツインシティ（Twin Cities:ミネアポリス&セントポール）の環状道路と交通計画 ..... 261